

調査・研修等計画届出書

令和 元年 10月 24日

瀬戸市議会議長 様

議員名 高島 淳



政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 元年10月29日 (10/20-21も高知県内で視察有)	
調査先・研修名	次世代施設園芸団地	
会場名(会場所在地)	高知県高岡郡四万十町本堂707-58 四万十とまと(株)	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	園芸が盛んである高知県では、県内最大の4.3haという面積を誇る四万十町次世代団地(次世代施設園芸高知拠点)が2016年に造成された。ここでは環境制御装置が整備され軒高6mという大型ハウスにおいて温度や湿度、二酸化炭素濃度などのハウス内環境がすべて制御・管理されており、最新技術を駆使した施設となっている。 これにより、85人にのぼる新規従事者が雇用されるなど地域経済活性化につながっており瀬戸市においてもアグリカルチャー部門の発展は重要施策にひとつになると考え、特産物プロデュースも併せ視察する。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先(名称)
同行者名	山田治義・富田宗一・小澤勝・西本潤・長江公夫・三木雪実 戸田由久・宮菌伸仁・柴田利勝・朝井賢次	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和2年3月26日

瀬戸市議会議長 様

議員名

高島 淳



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 元年10月29日
調査先・研修名	次世代施設園芸団地
会場名(会場所在地)	高知県高岡郡四万十町本堂 707-58 四万十とまと (株)
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	園芸が盛んである高知県では、県内最大の4.3haという面積を誇る四万十町次世代団地(次世代施設園芸高知拠点)が2016年に造成された。ここでは環境制御装置が整備され軒高6mという大型ハウスにおいて温度や湿度、二酸化炭素濃度などのハウス内環境がすべて制御・管理されており、最新技術を駆使した施設となっている。 これにより、85人にのぼる新規従事者が雇用されるなど地域経済活性化につながっており瀬戸市においてもアグリカルチャー部門の発展は重要施策にひとつになると考え、特産物プロデュースも併せ視察する。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
<p>高知県四万十町に施設園芸先進国であるオランダの技術を導入した次世代施設園芸団地について、総事業費は27億3600万円で、国と高知県の補助を受け、県内の3社で運営している。施設は高さ6メートルのハウス3棟、総面積4.3ha。農林水産省が全国10箇所で開催している「次世代施設園芸導入加速化支援事業」。</p> <p>事業は有限会社四万十みはら農園、株式会社ベストグロウ、四万十とまと株式会社の3社で、約90人の雇用が生まれた。</p> <p>高知県はさらなる付加価値と雇用の創出を目的としてこの施設を核に、関連産業(食品加工や直販、レストランなど)を集積させた「農業クラスター」の形成に取り組む。</p>	

研修（受講後の感想）瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

研修は、この事業の概要説明から工場見学をした。農業とはいえ、まさに工場でトマトが生産ラインに乗ってできてくる様子は圧巻でした。場内は土が無く、栄養水を与えることでトマトの安定生産を実現していました。

また、印象的だったのは、従業委員の多くは20代から30代であることで、若者の雇用創出につながっていることである。従来の農業と一線を画した新しいスタイルとしての大規模農業の一つの例として大変参考になった。

